

# ウィザス

「ウィザス」はウィズ・アス＝with us  
 “共に生きる—男女共生社会”  
 の理念をあらわしています。

特集

## 介護は、男女で共に

### 女性ニュース ●●●内閣府調査 —男性にとつての男女共同参画—

内閣府は平成24年4月に「男性にとつての男女共同参画」に関する意識調査報告書を公表しました。この調査は、男性の性別役割分担意識に関する実態と、男性が抱えやすい日常生活の意識・行動との関連性、意識形成の要因について分析しています。経済的役割志向については「結婚したら」、夫は、家族のために仕事は継続しなければならぬ」と回答した男性は全体の8割弱、同様の役割を男性に期待する女性は全体の8割で、男性も女性も肯定する傾向がみられます。

一方、「妻にはできるだけだけ稼いでもらいたい」と回答した男性は全体の2割弱、「自分もできるだけ稼ぎ

たい」と回答した女性は全体の5割弱と、妻の働きを期待しない男性と自分も働きたい妻と男女の意識に差があらわれています。

男性の役割分担意識を主導権役割志向、経済的役割志向、社会的役割志向、私的感情の抑制志向、日常生活依存志向の5つの志向性に分類し、男女のギャップなどから見る「志向性の度合い」をまとめた報告を基に、性別により役割を固定的に考える「固定的性別役割分担意識」の解消を目指して、男性にとつての男女共同参画を効果的に進めていきたいものです。

内閣府が日本PMIコンサルティング㈱に委託して実施したもの。主にインターネットの調査(男性3000人、補足的に女性3000人)



絵 A.S

### 平成24年度芦屋市男女共同参画センター市民企画講座

**パパ☆ママ みんなで絵本でえがお**  
 ■日時：平成24年9月13日、9月27日、10月11日、10月25日、11月15日、11月29日(木)午前10時～11時30分  
 ■対象：大人20人 子育て中の方、プレママ、プレパパ、妊婦さん、祖父母(子ども同伴可)  
 ■一時保育：要予約。2歳から就学前までの幼児。先着8人。1人1回300円。

**パパ☆ママ えほんよんで PART1 PART2 PART3**  
 ■日時：PART1 10月6日(土) PART2 11月3日(土) PART3 12月8日(土) いずれも午前10時～11時30分  
 ■対象：0歳児から就学前までの親子15組(プレママ、プレパパもどうぞ)  
 ■企画・運営：NPO法人「絵本で子育て」センター絵がお

**今日からイクメン～お父さん・お母さん・家族と一緒に自然物を使って遊ぼう～**  
 ■日時：9月30日(日) 自然物を使って虫をつくろう！ 11月11日(日) 草笛を鳴らそう 12月16日(日) 科学遊び いずれも午前10時～11時  
 ■対象：3歳児から小学生低学年までの親子15組(先着順)  
 ■一時保育：要予約 2歳以上3歳未満の幼児(先着8人) 1人1回300円  
 ■企画・運営：ちきゅうっ子応援隊  
 \*\*\*\*\*  
 ◆会場：芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや  
 ◆参加料：無料  
 ◆申込み：講座名「絵本でえがお」、「パパよんで」、「今日からイクメン」、住所、氏名、電話(FAXも)番号、参加希望日、子ども同伴または一時保育希望のかたは子どもの名前、年齢(月齢も)を記入のうえ、電話・はがき・FAXまたは芦屋市男女共同参画センター窓口まで。  
 ◆各講座とも、受付開始日は問い合わせください。

### 平成24年度芦屋市男女共同参画センター講座

**知って守ろう！女性の健康チェック**  
 思春期から妊娠・出産、更年期、高齢期の女性ホルモンの働きを知って、そのときどきの女性の心身の健康について一緒に考えましょう。  
 ■講師：宮本 由紀子氏 産婦人科医 由っ子クリニック院長  
 ■日時：平成24年9月20日(木) 午前10時～12時  
 ■対象：テーマに関心のある女性  
 ■一時保育：要予約 2歳から就学前の幼児(先着8人) 1人300円  
 ■受講料：300円 ■定員：20人(先着順)  
 ■申込方法：講座名「女性の健康」、住所、氏名、電話(FAXも)番号、一時保育希望の場合(9月13日締切り)、子どもの名前、年齢(月齢も)を記入のうえ、電話・はがき・FAX・Eメールまたは芦屋市男女共同参画センター窓口まで。

**編集後記**  
 叔母が病気後、体が不自由になった。「風呂、飯、寝る」の叔父に、時々、不満をこぼしていた叔母だった。心配でどうしているかと、聞いてみたら、叔父が家事を試みているとの事…。かなり苦労しているだろうと察する。叔母は、とても元気な人だったけれど、いつ、どちらがどの立場となるか分からない。男の人、身の回りの事ができるようにあって欲しい。(豊嶋)



### 女性相談

tel.0797-38-2022(予約電話)

「こんなことで…」と思わずに、まず、お電話を！相談は無料で、秘密は固く守られます。1回50分間の相談時間を確保し、専門の女性相談員がゆっくりとお話をうかがいます。相談は事前予約が必要です。上記の番号へお電話をください。  
 ※無料の一時保育あり(予約制)

相談	曜日	時間
女性の悩み相談	第1土曜日	①13:00
	第1・3水曜日	②14:00
	第2～5金曜日	③15:00
暴力(DV)に関する相談	第1・3水曜日 第2・4金曜日	各50分

### 赤ちゃんの駅

「赤ちゃんの駅」は、外出先で授乳やおむつ替えのために気軽に立ち寄ることができる施設の愛称。芦屋市では平成24年4月1日現在、市公共施設50箇所、民間事業所等の65箇所のご協力のもと、合計115箇所が登録、芦屋市男女共同参画センターも赤ちゃんの駅登録施設です。

## ウィザス No.71

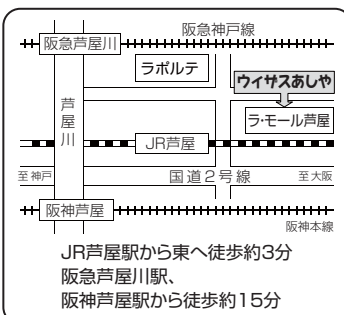
平成24年9月発行

編集・発行 芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや

〒659-0092 芦屋市大原町2-6 ラ・モール芦屋2階  
 tel 0797-38-2023 fax 0797-38-2175  
 E-mail josei-ce@city.ashiya.hyogo.jp

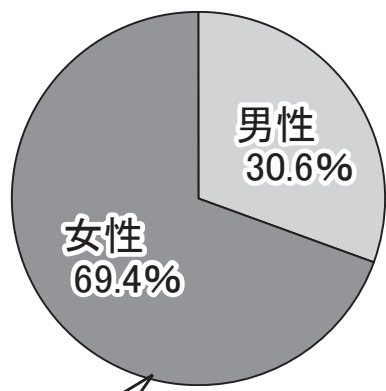
■開館日・時間：平日(月～金)、第1土曜日 午前9時～午後5時30分  
 ■休館日：土曜日(第1をのぞく)、日曜日、祝日、振替休日、年末年始

URL <http://www.city.ashiya.lg.jp/sankaku/withus/centerwithus.html>





### 主な介護者の性別



介護者の約3割が男性

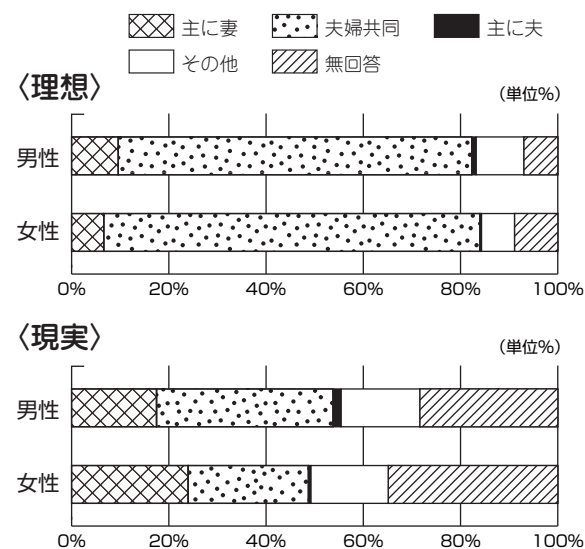
資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」平成22年

主な介護者と要介護者との続柄別にみると、「同居」が64.1%、「事業者」が13.3%、「別居の家族等」が9.8%となっています。「同居」の主な介護者の性別をみると、男性30.6%、女性69.4%となっています。

### 「男女共同参画に関する市民意識調査結果」

芦屋市 平成24年2月

家庭のことがら(介護)について夫婦でどのように分担したいか、また、しているか、理想と現実をたずねました。



介護についての回答を性別でみると、〈理想〉では、男女とも「夫婦共同」の割合が最も高く7割を超えています。しかし、〈現実〉では、男女とも「夫婦共同」の割合が最も高いものの、〈理想〉よりは低くなっています。

「主に夫」と回答した割合をみると、1%に満たない程度の中で、男性の回答の〈現実〉は1.5%でした。

# 介護は、男世で共に

男性の介護者が3人に1人の割合になっている現在、介護は女性、あるいは男性といった偏った性別で担うものではなくりました。今まで主に女性がかかわってきた介護を男性も共に担うということを、一緒に考えてみませんか。



## 寄稿



つどめ まさとし  
立命館大学教授 津止 正敏 氏

★立命館大学産業社会学部教授。立命館大学大学院社会学研究科修士課程修了。京都市社会福祉協議会に20年間勤務(地域福祉部長・ボランティア情報センター長等歴任)の後、2001年4月より現職。専門は地域福祉論。社会福祉法人みんななかま(理事長)や、男性介護者と支援者の全国ネットワーク(事務局長)などの社会活動にも参加。主編著に『男性介護者白書—家族介護者支援への提言—』『ボランティアの臨床社会学—あいまいさに潜む「未来」—』『子育てサークル共同のチカラ—地域福祉と当事者の視点から—』など。

## 「ケアメン」と呼ぼう！—男性介護者100万人時代—

これまで介護は辛くて嫌なもの、できれば避けたいものとされてきた。介護を排除して成り立つ働き方も「できる」ビジネスマンの典型とされてきた。しかし、介護等ケアを組み込んだ暮らし方や働き方のほうが、実は人生を豊かに出来るのではないかと「男性介護者と支援者の全国ネットワーク(男性介護ネット)」は主張している。育児や介護という家族のケアを包み込んだ暮らし方・働き方をもっともっとポジティブに打ち出してみたい。ケアを基準にすればこの社会の欠陥が炙出され改革方向がよりクリアになるのではないかと。

「イクメン」が社会に浸透し始めた頃、私たちはイクメンに倣って介護する男性も「ケアメン」と呼ぼうではないかと、と恐る恐る呼び掛けてきた。主たる介護者としての男性はもう100万人を超え、介護者の3人に一人を占めている時代なのだから。「イクメン」のずっと先を走っているのではないかと。でも、少しの不安があった。ポジティブメッセージといったって、介護の実際はそんなきれいごとで語れるようなものじゃない。男性介護者は中高年が殆どを占める。面白がって茶化し

ているのではないかと。あの方この方からお叱りを受けるのではないかと、多々恐れた。

幸いに私の不安は杞憂に終わった。各地の男女共同参画センターや地域包括支援センター、社会福祉協議会、家族介護者組織、NPOでの研修会や講座の幾つかがケアメンを冠として開催されるようになった。インターネットでは早々にケアメンという語の紹介と解説が始まっている。「YAHOO辞書・新語探検」というサイトでは「高齢者の介護を積極的に行う男性。育児を積極的に行う男性を『イクメン』と呼ぶことが定着してきて、次の段階として、これまで家庭にいる女性にまかせがちだった介護を、働いている男性も受けもとうということ」を男性介護ネットは提唱している、と。介護福祉士などをケアメンと説明し、丁寧にも次のような使用例も掲載しているサイトもある。「私も年だし、親も年だし、結婚するならケアメンだよな」。私たちとは少し趣旨は違いますが、悪くない。若い世代が、介護のことを自然に生活の中に取り込んでいくことが可能となる時代に早くなればいい、と心から思う。

男性の介護者が増えるにつれ、今まで気づかなかった問題点もみえてきました。それは、男性の多くが今まで仕事に邁進し、仕事場と自宅を往復する生活が中心だったため、家の中の家事に不慣れだったり、地域とのつながりが弱かったりしがちなケースが考えられるからです。

地域での生活についての情報も希薄な状態で、突然、介護を抱え込んだとき、不安な気持ちや戸惑いを覚えることが少なからずでてくるでしょう。

まずは、地域の介護相談窓口(高齢者生活支援センター)をたずねてみてはいかがでしょうか。日ごろ戸惑っていることや気になることを相談したり、男性同士でお互いの苦労話をするなどの情報交換をして、リフレッシュするのも、介護を続けるうえで大切なのではないのでしょうか。

阪神間の男性介護者ネットワークも誕生し、芦屋市内でも今年3月から「男性介護者のつどい」が始まっているそうです。

男女を問わず、自分の住む地域の介護関連情報を知っておくのも、豊かな生活をおくるための知恵ではないのでしょうか。



### ◆ 三屋の情報 ◆

#### 男性介護者のつどい

- 次回日程：10月開催予定
- 会場：養護老人ホーム和風園 (芦屋市朝日ヶ丘町39-20)
- 対象：介護中・介護に興味のある男性
- 内容：介護勉強会・悩み相談・男性介護者同士の交流等
- 問い合わせ先：養護老人ホーム和風園 Tel. 0797-23-0485

### 芦屋市 高齢者の総合相談窓口

#### 芦屋市内 地域包括支援センター

- 東山手高齢者生活支援センター(和風園内)  
担当地域 朝日ヶ丘・岩園小学校区 Tel.0797-32-7552
- 西山手高齢者生活支援センター(アクティブライフ山芦屋内)  
担当地域 山手小学校区 Tel.0797-25-7681
- 精道高齢者生活支援センター(福祉センター内)  
担当地域 精道中学校区 Tel.0797-34-6711
- 潮見高齢者生活支援センター(あしや喜楽苑内)  
担当地域 潮見中学校区 Tel.0797-34-4165